

横浜ダンスコレクション EX (エックス) 2015 コンペティション 受賞振付家決定!

記念すべき 20 年目を迎える次世代振付家の才能と創造を発信するコンテンポラリーダンス・フェスティバル「横浜ダンスコレクション EX」。フェスティバルのメインプログラムである「コンペティション I」と「コンペティション II 新人振付家部門」が 2015 年 2 月 5 日(木)～8 日(日)に横浜赤レンガ倉庫 1 号館で開催され、上演審査を経て、各コンペティションの受賞者が決定しました。

コンペティション I 応募組数 9 カ国 90 組、ファイナリスト 4 カ国 10 組

賞 名	受賞者名 / 受賞作品名	年 齢(2014 年 7 月 31 日応募締切時点)/ 出身地
審査員賞 若手振付家のための 在日フランス大使館賞 (協力:エールフランス)	川村 美紀子 「インナーマミー」	24 歳/東京都出身
MASDANZA 賞	梶本 はるか 「そしてそれから」	31 歳/愛媛県出身
シビウ国際演劇祭賞 Touchpoint Art Foundation 賞	黒須 育海・香取 直登 「RE:DIVISION」	26 歳/埼玉県出身
奨励賞	小暮 香帆 「遙かエリチェ」	24 歳/埼玉県出身
奨励賞	遠江 愛 「真っ昼間の独り言」	29 歳/東京都出身
奨励賞	ラゼル・アン・アグダ・ミッチャオ 「LA ELLE S'EN VA (there she goes)」	24 歳/バコロド(フィリピン)出身

《審査員》

小野 晋司 (青山劇場・青山円形劇場 プロデューサー)、新藤 弘子 (舞踊評論家)、
前田 圭蔵 (東京芸術劇場 プロデューサー)、浜野 文雄 (新書館「ダンスマガジン」編集委員)、
室伏 鴻 (舞踏家・振付家)、ジュリエット・ドゥ・シャルモワ (アンスティチュ・フランセ横浜 館長)、
ヴェロニク・ドニ＝ラロック (在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本 芸術部門舞台芸術担当)、
ユヴァル・ピック (リリュ・ラ・パプ 国立振付センター ディレクター)

コンペティションⅡ（新人振付家部門）応募組数35名、ファイナリスト12名

《審査員》

賞 名	受賞者名 / 受賞作品名	年 齢 / 出身地・居住地
最優秀新人賞	中屋敷 南 「おんなのこ」	24 歳/神奈川県出身
奨励賞	田村 興一郎 「ハゲワシと少女」	21 歳/新潟県出身

住吉 智恵(アートプロデューサー、ライター)
 浜野 文雄(新書館「ダンスマガジン」編集委員)
 森下 真樹(振付家・ダンサー)
 ヴィヴィアン佐藤(美術家)

コンペティションⅠ 受賞振付家プロフィール



(C)K.Kajiya

川村 美紀子

【審査員賞】

【若手振付家のための在日フランス大使館賞（協力：エールフランス）】

1990 年生まれ。16 歳からダンスを始める。日本女子体育大学（舞踊学専攻）在学中、横浜ダンスコレクション EX2011 最優秀新人賞を受賞、翌年ダンストリエンナーレトーキョーに出演。活動は国内に留まらず、韓国、ポーランド、ベトナムなど国際ダンスフェスティバルで作品を発表。また、ルーマニアでのレジデンス、フィンランドやクロアチアのアーティストとの共同制作も行う。2013-14 年度セゾン文化財団ジュニア・フェロー。



(C)森 雄一郎

梶本 はるか

【MASDANZA 賞】

幼少よりクラシックバレエを始める。2005 年より＜BATIK＞のメンバーとして、国内外の公演に出演。＜プロジェクト大山＞や長内裕美、関かおりの作品にダンサーとして出演。ST スポットラボ 20#19 や BATIK トライアルなどでソロ作品も発表。2012 年小学校教諭免許を取得。同年より、＜School of Dance Project＞に参加。学校現場に関わりながら、ダンス教育の在り方を探っている。

黒須 育海 / 香取 直登

【シビウ国際演劇祭賞】

【Touchpoint Art Foundation 賞】

2013 年よりデュオとして活動始める。黒須は東野祥子、関かおりの元で踊り、香取は＜コンドルズ＞、＜ビルヂング＞に所属。それぞれの活動をしつつ、お互いの持ち得る技術・世界観を共有し、作品を作っている。Dance Summit in Japan2013 グランプリ受賞 Dance Creation Award2014 第一位を獲得。





(C)Manaho Kaneko

小暮 香帆

【奨励賞】

1989 年生まれ。6 歳より吉田久木子に師事。これまで笠井勲、笠井瑞丈×上村なおか、三浦宏之、岩淵多喜子、岩淵貞太など多数振付家作品に出演、国内外のツアーに参加。2012 年日本女子体育大学卒業後、本格的にソロ活動を開始。処女作品“涙の球体”で第 2 回セッション・ベスト賞受賞。2013 年秋には初単独公演“遙かエリチェ”を発表。また映画や映像作品、ライブなどに出演。めぐりめぐるものを大切に踊っている。



(C) 福井理文

遠江 愛

【奨励賞】

桜美林大学総合文化学科卒業。大学より木佐貫邦子に師事。2011 年より、8 名の振付家兼ダンサーからなる＜21 世紀ゲバゲバ舞踊団＞として活動を開始。ソロ活動においては、声明と踊る作品や美術家・電子音楽家との共同作品を発表。2014 年ダンスがみたい！新人シリーズ 12 にて新人賞を受賞。



ラゼル・アン・アグダ・ミッチャオ

【奨励賞】

＜ダンス・プル・プロジェクト社＞および＜ダンス・プル・スクール・オブ・パフォーミング・アーツ＞芸術監督補佐／振付家。オーストラリアン・コンセルヴァトワール・オブ・バレエ登録教師。2013 年、フィリピンの振付家・ダンス教師育成プログラム、ナショナル・コンポジション・アンド・ムーブメント・アナリシス・プログラム (C-MAP) コースを修了。2014 年 7 月 20 日、フィリピン文化センターで開催された WI-FI ボディ・コンテンポラリー・ダンス・フェスティバル新人振付家コンペティションで 2 位受賞。

コンペティションⅡ 受賞振付家プロフィール



(C) ho wd ygato

中屋敷 南

【最優秀新人賞】

漠然とした小さな希望を抱き、中学 1 年生で学校のダンス部に入部。中学、高校、大学の部活動で、創作ダンスの全国大会に出場、入賞を果たすなど、いわば‘スクールダンス’で長年踊り続けてきた。数年前から、ごくスローペースで校外で動き始めている。



(C) 近藤千紘

田村 興一郎

【奨励賞】

1992 年生まれ新潟県出身。高校の部活でダンスを始め、身体表現と創作の虜になる。京都造形芸術大学にて寺田みさこ、伊藤キム、山下残からダンスを学ぶ。2011 年に Dance Project＜Revo＞を立ち上げ、演出・振付・ダンサーとして活動。現在はダンス作品において、動物にある芸術性を追求している。その他の活動では過去に、きたまり、西島千博の振付作品に参加。